

令和元年度 南部地域の新たな公共交通基本計画基礎調査

～ 南部地域の新たな公共交通基本計画（中間とりまとめ） ～

令和2年1月

島尻地域振興開発推進協議会

1. はじめに

1-1 調査目的

沖縄本島南部地域には、豊かな自然環境と貴重な歴史・文化財が多く分布しており、沖縄戦跡国定公園をはじめとする平和学習の場、近年では文化や癒しをテーマとした観光スポットとしても人気を集め、大型クルーズ船の寄港など年々観光客数も増加傾向にあり、沖縄観光振興の一翼を担っている。一方、本地域は主要幹線道路沿線を中心に急速な都市化も進んでおり、増加する観光交通に加えて那覇都市圏との通勤・物流など自動車交通の集中による渋滞が社会問題となっている。

これらを背景に、近年では地域住民の利便性や観光客の満足度向上、円滑な物流ネットワークなどの実現に向け、交通渋滞に影響されない「持続可能な公共交通システムの構築」を求める声が高まりつつある事を踏まえ、平成28年12月のシンポジウムでは、「沖縄本島南部地域における公共交通システムとまちづくり」をテーマに、行政をはじめ公共交通計画の専門家、各種産業界、利用者等の代表者との意見交換により議論を深め、合わせてそれを発信することでの実現に向けた機運を高めていく事を目指した。

一方で、県や国においても様々な渋滞対策が進められるとともに、沖縄モノレールの延長や基幹バスの導入検討、鉄軌道計画の検討など様々な軌道系公共交通の検討が進められている。しかしながら、これらの公共交通の検討は那覇以北の計画となっており、鉄軌道の計画検討において、本来の上位計画である「沖縄21世紀ビジョン」では、南部を縦貫すると明記され、また近年中部以上の交通状況の悪化がみられるものの、計画検討委員会では、起終点を那覇～名護間とした案が示されている。

さらに、南部の各自治体ではそれぞれの地域における移動交通に関する課題解決や、交通政策基本法の制定などを背景に、交通基本計画や公共交通網形成計画の策定、コミュニティバスやデマンド交通等の本格・試験運行など様々な取り組みがなされている。しかし、いずれも当該自治体内に限られた計画または構想であり、近隣自治体との連携による広域計画ではないことから、主に広域移動に関しては足並みが揃っていない状況にある。

そこで、本調査は南部地域の様々な交通問題を改善するとともに、南部がめざすまちづくりの実現に向け、交通からまちづくりを支えていくことを目的に、平成30年度の検討結果を踏まえながら、引き続き本地域が一体となって持続可能な新たな公共交通システムの構築とまちづくりの実現に向けた「南部地域の新たな公共交通基本計画」を策定するための、基礎的な調査検討を実施するものである。

1. はじめに

1-2 連携して取り組む目的

未だ議論が進んでいない本島南部地域の公共交通網のあり方について、各市町村が交通に関する課題や考え方について情報共有を行うことで

「南部地域」の望ましい公共交通網の姿を「南部地域」が一体となって策定

し、共通する将来ビジョンに基づいた整合性のある取り組みを進めていくことを目的とする。

検討にあたっては、地域の課題や目標等をきちんと踏まえ、既存路線バスの再編など短期的な対策（導入含む）をはじめとする、中・長期的な段階整備について周辺市町村、関係機関と協議・調整を進めていくことで実効性のある計画策定を目指す。

※平成30年度 南部地域の新たな公共交通基本計画基礎調査報告書より

【令和元年度の目標】

令和2年度以降の簡易需要推計等に向けて、システム、サービス水準、運行ルート、駅位置などの諸条件について検討し決定する

1-2 調査内容・当初スケジュール

平成30年度
(昨年度)

「連携して検討すべき公共交通軸の抽出」

①各自治体のまちづくり、公共交通計画等の整理

output1 連携して検討すべき公共交通軸（案） 骨格軸A・B、支線軸1～5

output2 望ましい検討体制（案）

令和元年度
(本年度)

「将来ビジョンの検討と共有、および需要推計や事業評価等に向けた各種条件の整理」

①各軸の将来ビジョン検討

output1 ルート案、交通システム、目標とするサービス水準や指標など（イメージレベル）

②将来ビジョンを見据えた沿線まちづくり検討

output2 沿線開発人口（計画）、計画交通量、交通システムの段階整備など（イメージレベル）

③とりまとめ

output3 南部地域の新たな公共交通基本計画（構想、中間とりまとめ）・・・> 市町村計画等への反映

令和2年度～
(次年度以降)

「事業評価等と実現に向けた課題・対応方策の検討」～「基本計画策定」

①事業評価、道路交通影響評価

output1 将来交通量（沿線開発人口等）、需要推計（＝概算運賃収入）、概算整備費用（ルート、システム）
概算運行経費（サービス水準等）、事業採算性、周辺道路交通量・混雑度、その他波及効果

②課題整理、対応方策の検討

output2 費用面の課題対応例： 将来ビジョン（ルート、システム、サービス水準等）の見直しなど
需要面の課題対応例： 沿線開発人口（計画）、計画交通量、交通システムの段階整備の見直しなど

③とりまとめ

output3 南部地域の新たな公共交通基本計画 ……> 上位計画等への反映



2. 専門委員会・ワーキンググループの開催

2-2 島尻地域振興開発推進協議会専門委員会

専門委員会名簿

(専門委員) 市町・担当課名	役職名	氏 名	備考
糸満市政策推進課	課長	新垣 行則	委員長
豊見城市都市計画課	参事	福地 友博	
南城市企画課	課長	外間 孝明	
八重瀬町財政課	課長	上地 良則	
与那原町企画政策課	課長	石川 毅	副委員長
南風原町総務課	課長	新垣 圭一	

(オブザーバー) 市町・担当課名	役職名	氏 名	備考
那覇市都市みらい部都市計画課	副参事	平良 正樹	
西原町総務部企画財政課	課長	島袋 友一	
浦添市都市建設部 都市計画課	課長	宮平 享	

開催日	議事	主な指摘・確認事項等
第1回 8月5日	(1) 目的の再確認とこれまでの取組について (2) 検討内容と体制について (案) (3) その他	① 今年度はA軸、B軸に分かれてワーキンググループを開催し、検討を進めることとし、那覇市、西原町などもオブザーバーとして参加頂く ② ワーキンググループへの国・県・有識者の参加は当面見送ることとし、参加依頼時期は委員会にて決定する ③ 来年度以降の検討体制構築に向けて南部広域市町村圏事務組合へ要請書を提出する(島振協委員会にて決定する) ④ 南部広域市町村圏事務組合ではワーキンググループを開催しつつ熟度を高めていき、予算が必要な調査事業が出てきた段階で各市町村の負担金等について検討を行う
ワーキンググループによる個別検討		
第2回 1月15日	(1) とりまとめ案について (2) その他	① A軸における駅位置の追加(2か所) ② 島振協委員会への報告日程の確認 ③ 各市町で進める網計画等を踏まえ、本中間とりまとめの公表に向けては計画の整合性等の面で留意する必要がある ④ 次年度以降の検討体制について確認(南部広域市町村圏事務組合)

2-2 ワーキンググループ

①A軸WG（那覇～糸満）

市町・担当課名	役職名	氏名	備考
糸満市政策推進課	課長	新垣 行則	WG長
豊見城市都市計画課	参事	福地 友博	
那覇市都市みらい部都市計画課	副参事	平良 正樹	オブザーバー

開催日		議事	主な検討・確認事項等
第1回	9月17日	<ol style="list-style-type: none"> 骨格軸沿線まちづくり計画（ビジョン、イメージレベル）について 上記計画等を踏まえた望ましい幹線公共交通のあり方（将来ビジョン）について 	① A軸に対する各市町村の検討状況（熟度、内容）の調査とりまとめ
第2回	10月30日	<ol style="list-style-type: none"> 望ましい幹線公共交通のあり方（将来ビジョン）の協議、とりまとめ 沿線まちづくり計画を踏まえた段階整備イメージの協議、とりまとめ 	<ol style="list-style-type: none"> ルート、駅位置案の検討 沖縄都市モノレール延伸（首里～てだこ浦西）費用に関する情報の共有
第3回	12月3日	<ol style="list-style-type: none"> 近隣市町村が連携すべき点の協議、とりまとめ 第2回専門委員会委員及び開催日時について 	<ol style="list-style-type: none"> 需要予測等に向けた駅位置案の決定について ・豊見城市調査事業について（豊見城市） その他開発計画について その他交通結節箇所等について 段階整備について

3. 島尻地域振興開発推進協議会専門委員会 ワーキンググループの開催

② B軸WG（那覇～与那原）

市町・担当課名	役職名	氏名	備考
与那原町企画政策課	課長	石川 毅	WG長
南風原町総務課	課長	新垣 圭一	
南城市企画課	課長	外間 孝明	
八重瀬町財政課	課長	上地 良則	
那覇市都市みらい部都市計画課	副参事	平良 正樹	オブザーバー
西原町総務部企画財政課	課長	島袋 友一	オブザーバー
浦添市都市建設部 都市計画課	課長	宮平 享	オブザーバー

開催日		議事	主な検討・確認事項等
第1回	9月17日	<ol style="list-style-type: none"> 骨格軸沿線まちづくり計画（ビジョン、イメージレベル）について 上記計画等を踏まえた望ましい幹線公共交通のあり方（将来ビジョン）について 	① B軸に対する各市町村の検討状況（熟度、内容）の調査とりまとめ
第2回	10月30日	<ol style="list-style-type: none"> 望ましい幹線公共交通のあり方（将来ビジョン）の協議、とりまとめ 沿線まちづくり計画を踏まえた段階整備イメージの協議、とりまとめ 	<ol style="list-style-type: none"> ルート、駅位置案の検討 宇都宮LRT、国内路面電車の平均駅間距離等に関する情報の共有
第3回	12月3日	<ol style="list-style-type: none"> 近隣市町村が連携すべき点の協議、とりまとめ 第2回専門委員会委員及び開催日時について 	<ol style="list-style-type: none"> 需要予測等に向けたルート、駅位置案の決定について その他開発計画について その他交通結節箇所等について 段階整備について

3-3 A軸 主要交通結節箇所



※那覇市域内については、令和元年度策定予定の那覇市地域公共交通網形成計画における将来公共交通ネットワークにおいて、A軸のモノレールの位置付けは無い。

4. B軸(那覇～与那原)検討結果

4-1 B軸 運行ルート案1 (LRT)

【案1】 旭橋、真玉橋、上間、兼城、与那原ルート (国道330、国道507、国道329、国道331、県道77)



区 間	延長 (km)	駅数	平均駅間距離 (km)
那覇市内	5.18	※目安 4	1.73
南風原町内	3.06	5	0.77
与那原町内	2.54	7	0.42
合計	10.78	16	0.72

表定速度 (km/h)	予想所要時間 (分)
10	65
15	43
20	32

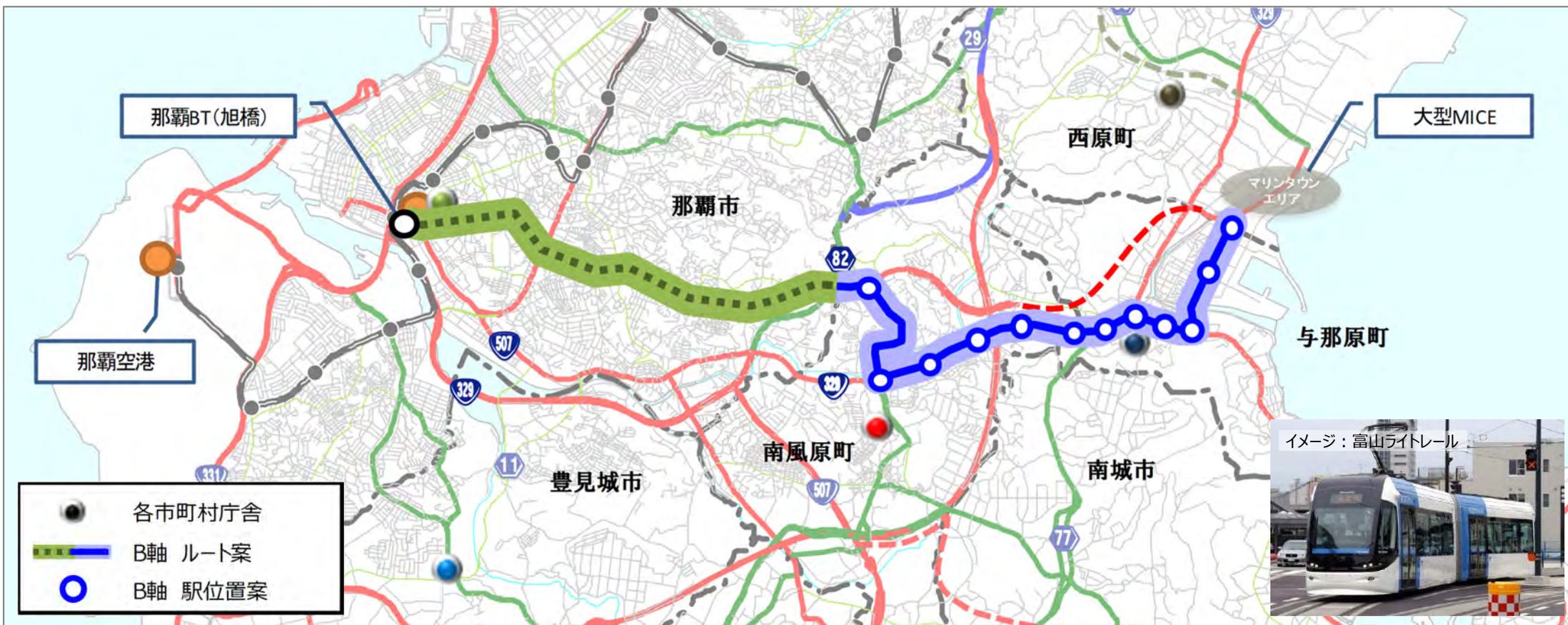
kmあたり単価 (億円)	事業費目安 (億円)
20.0	216
25.0	270
31.4	338

※31.4億円 = 宇都宮市LRTより (458億円 ÷ 14.6km)

※那覇市域内については、令和元年度策定予定の那覇市地域公共交通網形成計画における将来公共交通ネットワークにおいて、当該ルートの軸としてのLRT等の位置付けは無い。

4-2 B軸 運行ルート案2 (LRT)

【案2】 旭橋、開南、与儀、寄宮、新川、兼城、与那原ルート (県道222、県道241、国道329、国道331、県道77)



区間	延長 (km)	駅数	平均駅間距離 (km)
那覇市内	5.09	※目安 10	0.57
南風原町内	3.83	5	0.96
与那原町内	2.54	7	0.42
合計	11.46	22	0.55

表定速度 (km/h)	予想所要時間 (分)
10	69
15	46
20	34

kmあたり単価 (億円)	事業費目安 (億円)
20.0	229
25.0	287
31.4	360

※31.4億円 = 宇都宮市LRTより (458億円 ÷ 14.6km)

※那覇市域内については、令和元年度策定予定の那覇市地域公共交通網形成計画における将来公共交通ネットワークにおいて、【LRTなどの基幹的公共交通】軸として位置付けがあるが、詳細なルートの検討は令和2年度以降を予定。

4-3 B軸 運行ルート案3 (LRT)

【案3】 旭橋、開南、与儀、寄宮、新川、南風原・与那原BPルート (県道222、県道241、国道329)



区 間	延長 (km)	駅数	平均駅間距離 (km)
那覇市内	5.09	※目安 10	0.57
南風原町内	2.74	2	2.74
与那原町内	2.31	4	0.77
合計	10.14	16	0.68

表定速度 (km/h)	予想所要時間 (分)
10	61
15	41
20	30

kmあたり単価 (億円)	事業費目安 (億円)
20.0	203
25.0	254
31.4	318

※31.4億円 = 宇都宮市LRTより (458億円 ÷ 14.6km)

※那覇市域内については、令和元年度策定予定の那覇市地域公共交通網形成計画における将来公共交通ネットワークにおいて、【LRTなどの基幹的公共交通】軸として位置付けがあるが、詳細なルートの検討は令和2年度以降を予定。

4-4 B軸 運行ルート案4 (LRT)

【案4】 旭橋、開南、与儀、寄宮、新川、南風原BP、第一与那覇、与那原ルート (県道222、県道241、国道329)



区 間	延長 (km)	駅数	平均駅間距離 (km)
那覇市内	5.09	※目安 10	0.57
南風原町内	2.85	3	1.43
与那原町内	2.54	7	0.42
合計	10.48	20	0.55

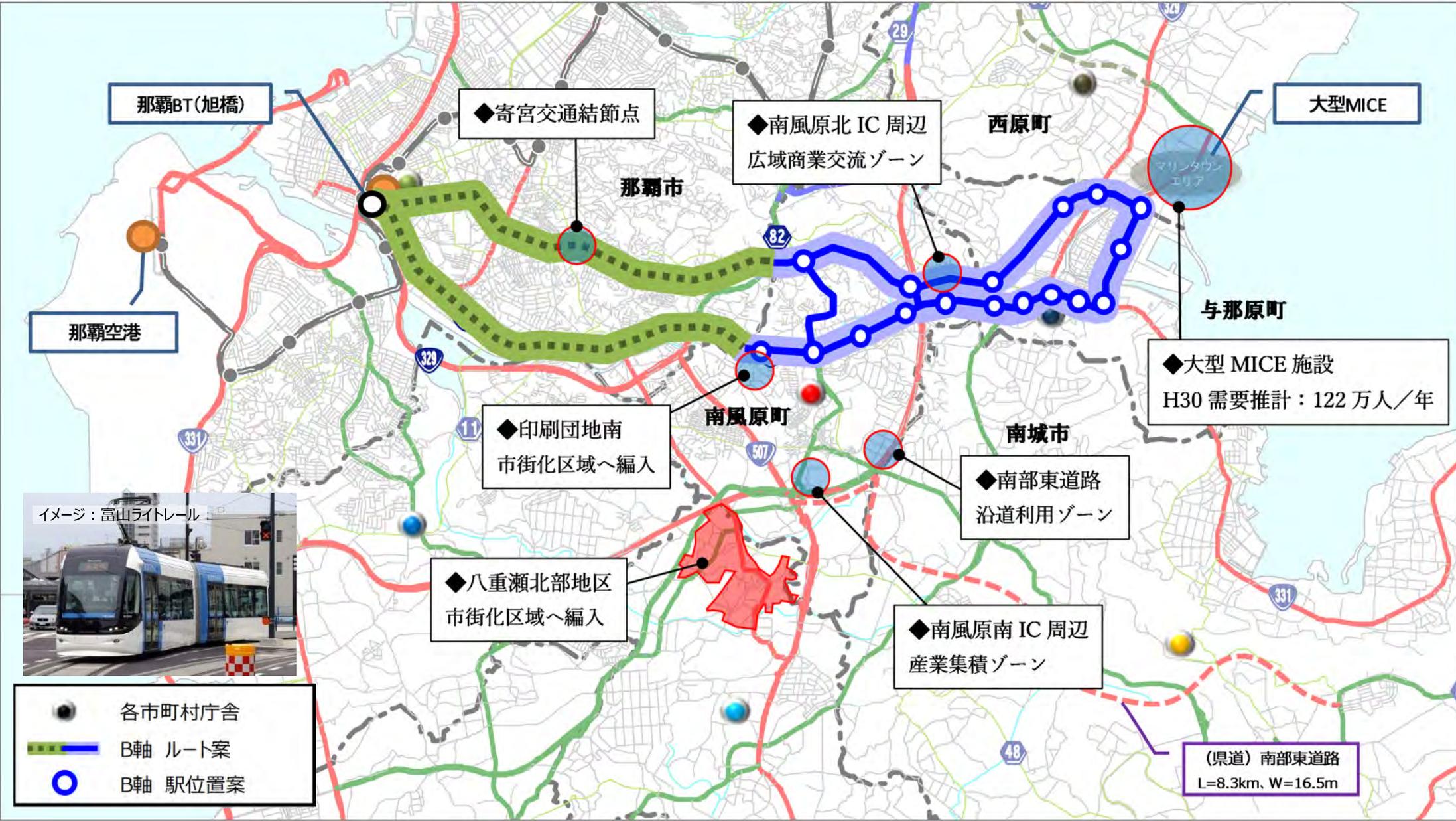
表定速度 (km/h)	予想所要時間 (分)
10	63
15	42
20	31

kmあたり単価 (億円)	事業費目安 (億円)
20.0	210
25.0	262
31.4	329

※31.4億円 = 宇都宮市LRTより (458億円 ÷ 14.6km)

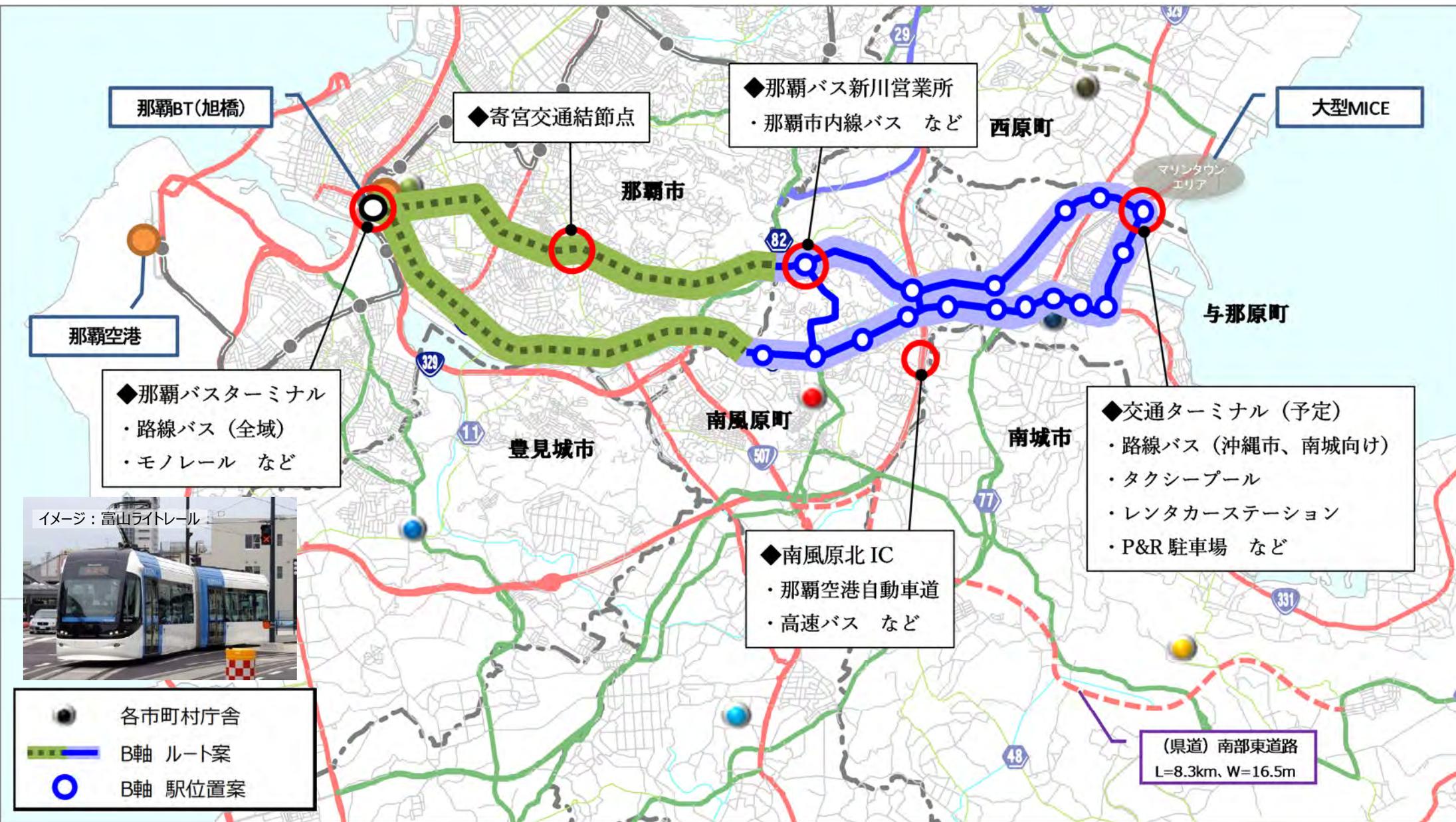
※那覇市域内については、令和元年度策定予定の那覇市地域公共交通網形成計画における将来公共交通ネットワークにおいて、【LRTなどの基幹的公共交通】軸として位置付けがあるが、詳細なルートの検討は令和2年度以降を予定。

4-5 B軸 沿線開発計画



※那覇市域内については、令和元年度策定予定の那覇市地域公共交通網形成計画における将来公共交通ネットワークにおいて、【L R Tなどの基幹的公共交通】軸として位置付けがあるが、詳細なルートの検討は令和2年度以降を予定。

4-6 B軸 主要交通結節箇所



※那覇市域内については、令和元年度策定予定の那覇市地域公共交通網形成計画における将来公共交通ネットワークにおいて、【L R Tなどの基幹的公共交通】軸として位置付けがあるが、詳細なルートの検討は令和2年度以降を予定。

5. 検討結果まとめ

5-1 A・B軸 検討結果一覧

項目	A軸（那覇～糸満）	B軸（那覇～与那原）
システム	モノレール	L R T
運行ルート案	案1：延長11.7km、11駅	案1：延長10.8km、16駅 案2：延長11.5km、22駅 案3：延長10.1km、16駅 案4：延長10.5km、20駅 ※駅位置案については次年度以降も検討が必要
サービス水準案	沖縄都市モノレールと同等	那覇～与那原間：30～40分 運行頻度：平均6～10分間隔
事業費目安	1,536億円 ※沖縄都市モノレール延伸費用より試算	203億円～360億円 ※宇都宮 L R T 事業費より試算
沿線開発計画案	自治体：4事業 民間：4事業	自治体：8事業 民間：なし
交通結節箇所案	主要3箇所	主要5箇所
その他	<ul style="list-style-type: none"> その他支線、段階整備等については今後の検証結果等を踏まえて検討 	

【注意事項】

※ 本検討結果は、令和2年度以降の需要予測等に向けたモデル案となるものであり、各自治体において合意または決定されたものではありません

※ 那覇市域内について、令和元年度策定予定の那覇市地域公共交通網形成計画における将来公共交通ネットワークにおいて、A軸のモノレールの位置付けは無く、B軸では【LRTなどの基幹的公共交通】として位置付けがあるものの、詳細なルートの検討は令和2年度以降を予定している

6. 南部広域公共交通網形成計画策定に向けたロードマップ案

	2018年 (平成30年度)	2019年 (令和元年度)	2020年 (令和2年度)	2021年 (令和3年度)	2022年 (令和4年度)	2023年～以降 (令和5年度～)
年度目標	<ul style="list-style-type: none"> 南部地域の現状と課題の共有 各市町村計画等の共有 連携すべき公共交通軸の共有 	<ul style="list-style-type: none"> 将来ビジョンの共有 検討すべきモデル案の共有 基本計画（構想）のまとめ 関係計画への構想反映 	<ul style="list-style-type: none"> 各モデル案における事業採算性などの比較検証 モデル案の見直し 関係計画への構想反映 	<ul style="list-style-type: none"> モデル最終案の選定 公共交通網形成計画案の作成 各自治体による最終意思決定 関係計画への反映 	<ul style="list-style-type: none"> 住民、交通事業者等との合意形成と連携 法廷会議において広域計画を策定 関係計画への反映 	<ul style="list-style-type: none"> 法廷会議において広域計画を策定 関係計画への反映 事業推進体制の構築
協議組織	専門委員会（3回） 【任意会議】	専門委員会（2回） WG（3回） 【任意会議】	南部広域公共交通会議 【任意会議】	南部広域公共交通会議 【任意 or 地域公共交通会議】	南部広域公共交通連携協議会 【法廷協議会】	南部広域公共交通連携協議会 【法廷協議会】
参加団体	市町村、沖縄県	市町村	市町村、沖縄県、沖総局、有識者	市町村、沖縄県、沖総局、有識者、交通事業者、交通管理者、道路管理者、住民代表など	市町村、沖縄県、運輸局、交通事業者、交通管理者、道路管理者、住民代表、有識者など	市町村、沖縄県、運輸局、交通事業者、交通管理者、道路管理者、住民代表、有識者など
事務局	島尻地域振興開発推進協議会	島尻地域振興開発推進協議会	南部広域市町村圏事務組合	南部広域市町村圏事務組合	南部広域市町村圏事務組合	南部広域市町村圏事務組合
計画の熟度	南部地域の新たな公共交通基本計画基礎調査	南部地域の新たな公共交通基本計画（中間とりまとめ）	南部地域の新たな公共交通基本計画（構想）	南部広域公共交通網形成計画（案）	南部広域公共交通網形成計画	南部広域公共交通網形成計画
検討概要	<ul style="list-style-type: none"> 既存関連計画・ビジョン等の資料収集整理 連携して検討すべき南部公共交通軸について 検討体制について 	<ul style="list-style-type: none"> 幹線軸A、Bの望ましい将来ビジョン（システム、ルート、駅位置、サービス水準、沿線開発）検討 交線公共交通の素案検討 	<ul style="list-style-type: none"> 需要推計（簡易型） 概算整備費 概算運行経費 事業採算性（概算） 事業・運営手法 	<ul style="list-style-type: none"> 需要推計（四段階推計） 道路交通影響評価 現地踏査、構造検討、事業費試算 B/C算出 事業・運営手法 その他整備効果、再編案等 	<ul style="list-style-type: none"> 住民説明会 他交通機関等への影響評価 他交通機関等との連携・再編協議（バス、タクシー、結節点強化など） 事業・運営手法 	<ul style="list-style-type: none"> 導入に向けた推進体制構築（導入協議会、準備連絡会等の発足）
幹線軸A 那覇～糸満	概略検討	具体モデルの検討	簡易需要推計	モデル評価 ⇄ 見直し	計画案選定	
幹線軸B 那覇～与那原	概略検討	具体モデルの検討（4ケース）	簡易需要推計	モデル評価 ⇄ 見直し	計画案選定	パブリックコメント 南部広域公共交通網形成計画
その他支線	概略検討		具体モデルの検討	モデル評価 ⇄ 見直し	計画案選定	
意思決定			各自治体にて意思決定	各自治体にて意思決定	各自治体にて意思決定・策定	各自治体にて意思決定・策定
市町村 単独計画等		関係計画への構想反映 公共交通網形成計画（那覇市、糸満市）	関係計画への構想反映	関係計画への案案反映	関係計画への反映	関係計画への反映
その他 上位計画等			沖縄県総合交通体系基本計画（基礎調査）	沖縄県総合交通体系基本計画（改定） 沖縄県パーソンシップ調査	沖縄21世紀ビジョン（次期計画策定）	沖縄本島中南部都市圏都市交通マスタープラン（改定）

現在

※地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第41号）に基づき「地域公共交通網形成計画」は、令和2年度を目的に制度改正（名称変更含む）が行われる可能性があるものの、広域連携を含めた計画策定の枠組みとして存続する見込み。